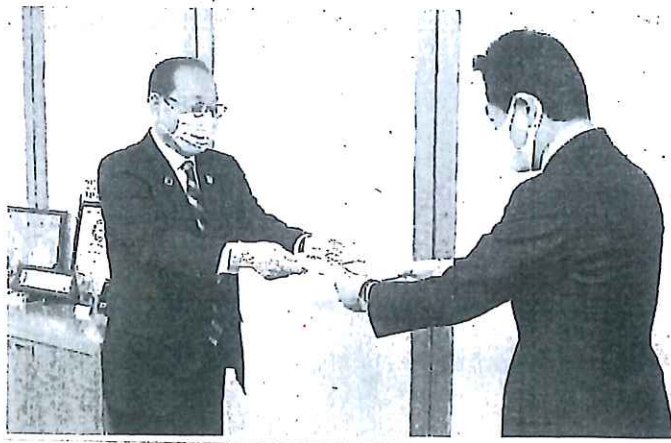


コロナ対策に 市へ100万円寄付

市管工事業協

【宇都宮】市の新型コロナウイルス対策に役立ててもらおうと、水道施設などの管工事業者91社で組織する市管工事業協同組合（和田均理事長）は9日、「ふるさと宇都宮応援寄付事業」に100万円を寄付した。

同組合の和田理事長は写真左から4人が市役所を訪れ、「新型コロナウイルス患者の対応に当たる医療従事者や中小企業などへの経済活動支援に使ってほしい」と佐藤栄一市長に目録を手渡した。佐藤市長は同組合に感謝状を贈った。



本社来訪

(9日)

相川武志氏（栃木労働局雇用環境・均等室長）▽幸田和則氏（同室雇用環境改善・均等推進監理官）▽荒井真一氏（一般社団法人とちぎ農産物マーケティング協会理事長）▽西元雅夫氏（宇都宮保護観察所長）新任あいさつ
高見公三氏（NECネットエスアイ営業統括本部地域営業主席主幹）転任あいさつ
斎藤豪徳氏（栃木労働局雇用環境・均等室長補佐）▽上岡啓之氏（一般社団法人とちぎ農産物マーケティング協会総務企画部次長）▽鈴木秀一氏（宇都宮保護観察所企画調整課長）▽内川直人氏（NEC宇都宮支店長）▽和田均氏（宇都宮市管工事業協同組合理事長）▽川中子武保氏（同組合専務理事）▽今村紳一氏（富士ファイルムビジネスインベーションジャパン栃木支社長）▽渡辺明彦氏（同支社メジャー営業部長）